



乳幼児期家庭教育学級

# にじっ子

 ころを ことばにのせて 

**283名の新成人が大人の仲間入りをした**臼杵市の成人式。天気予報はちょっと心配したが、くもり後晴れのお天気に恵まれ、多くの祝福と期待の中で、晴れやかに厳かに式典・実行委員会企画が行われました。「臼杵市の成人式は立派ですね」の評価もいただき、改めて**家庭教育や学校・社会教育の成果**を実感する思いでした。



インタビューに答える新成人のことばは 清々しく ○家族や地域の方々・先生方に感謝でいっぱい ○これまで以上に仲間を大切にきて共に成長していきたい ○周りの人に迷惑をかけない責任のある行動をしたい など。

**20才の夢や希望がふくらむ社会**であって欲しい、20才のお手本となり 意欲を支え・励ます先輩たちに出会ってほしい。そして 自然災害・環境問題・人口減少・緊迫した世界情勢など、**目の前の諸課題と誠実に向き合い 共に解決策をめざす人**になって欲しい。

＜なぜかこんなことを考えたのです＞

○「大きくなれ 大——きくなれ」と声をかけ続けたかぶは ほんとうに大きくなりました。



○庭の花に「きれいな花を咲かせてね」と声をかけると とてもきれいに咲くそうです。

○朝、金魚の餌当番になったYちゃん（5才）はいつの間にかおばあちゃんのまねをして「はい、おはよう、朝ごはんだよ 行って来ます」が習慣になり 金魚とお友達になったのだと。

○早朝散歩の途中で毎朝出会う高校生。10日ほどすると 彼らの方から大きな・元気な声で挨拶。

○「ありがとうございました。先生 かげに気をつけて」と礼をして教室を出る中学三年生。

「**自分の思いや願いをことばにして伝える、ころは必ず通じる(そして人を動かす)**」と思って生きてきました。



成人式終了後の 1/16（木）、実行委員6人中3人が仕事を終えて すぐの服装で公民館社会教育課に「大変お世話になりました。無事終わりました。ありがとうございました。」と。**確かに大人の一步をふみ出した3人の“ころ”**を受け止めました。

—— **心は見えにくい、でも心づかいやことばに表れるころは感じ取れる** ——

（にじっ子ちゃん時代は純粹さそのものの心で、大人のころばを聞き・感じ取る）

（文：垂井 美千代）

## ほっとさんの教え（臼杵市家庭教育10か条）の中から

- ⑦⑧ 認め・信じると 子どもは素直で・正直で責任をもって行動するよ**  
今のありのままの姿を認め よいところをほめ もっともっと（必ず）伸びていくよの思いを伝えると、安心して自信を持って 自分の得意なことを伸ばし 夢に向かっていきます。





# にじっ子ひろば

2020・1・23

## 「まめまき」

- 1 おこはそと ぶんはうち ぱらっぱらっぱらっぱらっ  
まめのおと おこはこっそり にげていく
- 2 おこはそと ぶんはうち ぱらっぱらっぱらっぱらっ  
まめのおと はやくおまいり ぶんのかみ

## 「鬼のパンツ」

鬼のパンツは いいパンツ つよいぞ つよいぞ  
トラの毛皮で できている つよいぞ つよいぞ  
5年はいても やぶれない つよいぞ つよいぞ  
10年はいても やぶれない つよいぞ つよいぞ  
はこうはこう鬼のパンツ はこうはこう鬼のパンツ  
あなたも あなたも あなたも あなたも  
みんなで はこう 鬼のパンツ

◎次回は「劇あそび」2月13日(木) 受付 9:30  
開始 10:00 場所：中央公民館 和室  
持ちもの：出席ノート・水筒・帽子・着替えなど

時間	活動内容
9:30	受付、自由あそび
10:00	ごあいさつ、トトロの体操「さんぽ」 歌「まめまき」または「鬼のパンツ」 エフロンシアター「ももたろう」 読み聞かせボランティア釘宮さん
10:20	豆まき ・紙の豆を紙の鬼に投げよう ・鬼の帽子を作ろう
10:55	・赤鬼・青鬼をやっつけよう
11:10	・福の神様から豆をもらおう
11:20	垂井先生の話
11:30	誕生会
11:35	体操「手のひらを太陽に」 さようなら



## おすすめ絵本

### 『ままです すきです すてきです』

谷川俊太郎：作 タイガー立石：絵 福音館書店

しりとりをテーマにした言葉あそび絵本です(^▽^)/ 鬼の子がドアのブザーを鳴らすと、そこはなんと不思議な世界に繋がっていて…。「たぬき きつね ねこ…」と初めは普通のしりとりなのですが、だんだんと文章になったり、擬態音になったりと読み手の想像力をかき立てる展開になっています。細かく書き込まれた絵をよ〜く見て、絵をよむ楽しさを感じてほしい絵本です♪



### 『虹色のチョーク』

働く幸せを実現した町工場の軌跡』 小松成美：著 幻冬舎

社員の約7割が知的障がい者という、神奈川県にあるチョーク製造会社・日本理化学工業株式会社について書かれたノンフィクション本です。一人ひとりの個性に合わせて、雇用条件や仕事内容を調整し、仕事をしやすい環境をつくること、それぞれが「働くしあわせ」を感じながら仕事をしていること、これが当たり前前の社会であるなら、すべての人が幸せを感じる社会になるだろうと感じました。経営者側の話だけでなく、働いている方のご家族にもお話を聞いている章があり、とても感銘を受けました。ぜひ読んでいただきたい一冊です！！

\* 令和元年度うすき市民読書感想文・エッセイコンクールの読書感想文部門で臼杵市長賞を受賞した鳥越さんが読んだ本です(^▽^)/

垂井先生のおすすめ本



一冊目は野津分館、二冊目はこども図書館所蔵です。予約もできます。市営駐車場の無料券(二時間分)もらえます。

